

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	学年	第1学年	類型	
単位数	2単位	教科書	新 現代の国語（三省堂）				
補助教材	常用漢字ダブルクリア 五訂版（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）						

学習目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
------	--

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	言葉と声で表そう	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。コミュニケーションについて、自分の考えを広げたり深めたりする。文章の構成における段落と段落との関係について理解する。  身近な体験などを通して、確かな情報を伝えるために必要なこととは何かを考える。  情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。	中間考査
	5月	わかりあえないことから		
	6月	届く言葉、届かない言葉		期末考査
	7月	情報はつくられる メディアとのつきあい方 ひとまず、信じない		
2 学期	8月	人が死なない防災 減災学をつくる 評価した情報をまとめる  分けることの長所と短所 水の東西 コインは円形か	筆者がどのようなデータを自らの主張の論拠としているかをつかむ。筆者の考えるハザードマップの問題点を整理する。 洪水発生時に必要な情報と効果的な表現について考えつつ、二つのハザードマップを見比べる。  比較対照して説明することの効果と留意点を知る。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。接続詞や指示語に注意し、文脈を丁寧に読み取る。	中間考査
	9月			
	10月			
	11月			期末考査
	12月			
3 学期	1月	檻の中の“街”  ありのままの世界は見えない	比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。  説明の方法を読み取ることを通して、事実に基づいた主張の展開の仕方について理解する。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	漢字学習にしっかりと取り組みましょう。事前学習では、言葉の意味を調べたり、辞書を活用したりしながら語彙を増やしていきましょう。授業中は大事なところをメモしながら、丁寧に文字を書くように心掛けましょう。普段から読書をしたり、新聞やニュースに触れたりして、文章を読む習慣を身に付けましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		